感染症発生動向調査 平成22年第52週 平成23年第1週合併号 (12月27日~1月9日)

京都市感染症週報

http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/soshiki/8-5-5-0-0 3.html

京都市感染症情報センター(京都市衛生環境研究所)

◆ 今週のコメント

- ・ **水痘**の定点当たり報告数は,第52週が1.13(45例),第1週が1.80(72例)となっており,年末年始の 連休を含む第52週に減少したものの,第1週は過去5年平均値を大きく上回っています。年齢階級別で は,4歳以下の占める割合が,第52週 84.4%(38例),第1週 84.7%(61例)となっています。
- ・ RSウイルス感染症の定点当たり報告数は,第52週が0.73(29例),第1週が0.48(19例)で,第51週 (1.03 41例)の約半分となっていますが,依然として過去5年平均値を大きく上回っています。
- ・ **感染性胃腸炎**の定点当たり報告数は,第52週が6.78(271例),第1週が6.53(261例)で,第50週(16.03 641例)をピークに減少しています。

◆ 今调のトピックス: <インフルエンザ>

インフルエンザの定点当たり報告数は、第52週(12月27日~1月2日) 1.15(77例)、第1週(1月3日~1月9日) 2.73(183例)となっています。詳細をトピックスに掲載しています。

なお、1月14日(金)に、市内においては、今シーズン初めて新型インフルエンザに感染した患者の死亡(男性、54歳、肺のう胞症の基礎疾患有、インフルエンザワクチンは未接種、死因は肺炎)が確認されています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

ありません

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点67, 小児科定点40, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	第1週		第52週	
		定点当たり報告数	報告数	定点当たり報告数	報告数
インフルエンサ゛	インフルエンザ	2. 73	183	1. 15	77
小児科	① 感染性胃腸炎	6. 53	261	6. 78	271
(降順5位まで)	② 水痘	1. 80	72	1. 13	45
	③ 流行性耳下腺炎	0. 58	23	0. 53	21
	④ RSウイルス感染症	0. 48	19	0. 73	29
	⑤ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0. 33	13	0. 25	10
	⑤ 突発性発しん	0. 33	13	0. 23	9
眼科	流行性角結膜炎	0. 90	9	0.00	0

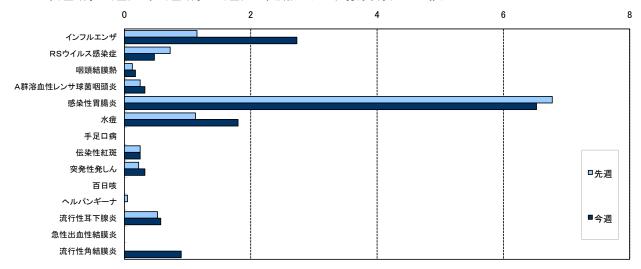
【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <インフルエンザ> 付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注)京都市のデータは、平成23年1月14日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。 また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

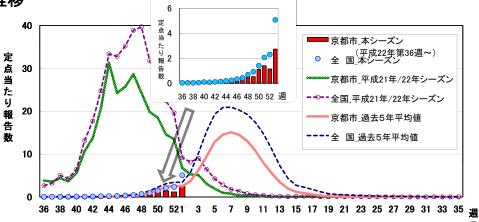
◆ 発生状況の概況グラフ

1 今週(第1週)と先週(第52週)の定点当たり報告数の比較



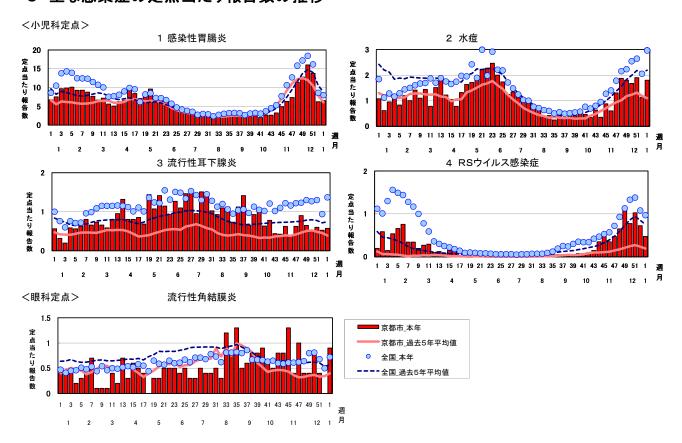
2 インフルエンザの推移

週	報告数(例)
第49週	36
第50週	75
第51週	94
第52週	77
第1週	183
累積報告数 (第36週以降)	561



8 9 10 11 12 1 2 3 4 5 6 7 8 ½ ※平成21年/22年シーズンは、新型インフルエンザの発生により、例年と流行傾向が大きく異なるため、別に表記しています。

3 主な感染症の定点当たり報告数の推移



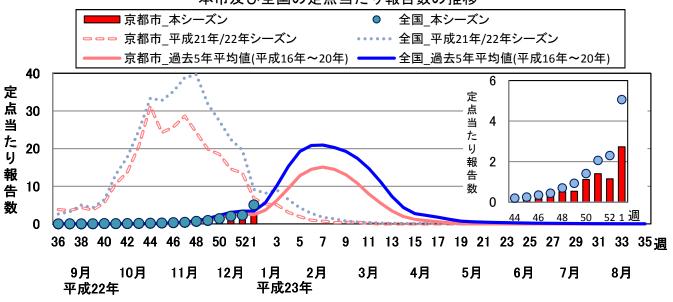
合併号(12月27日~1月9日)トピックス: <インフルエンザ>

インフルエンザの定点当たり報告数は、第52週(12月27日~1月2日) 1.15(77例)、第1週(1月3日~1月9日) 2.73(183例)と、年末年始を含む第52週にやや減少したものの、第1週には、第51週の2倍近い報告数となっています。行政区別をみると、第1週にはすべての行政区から報告があります。

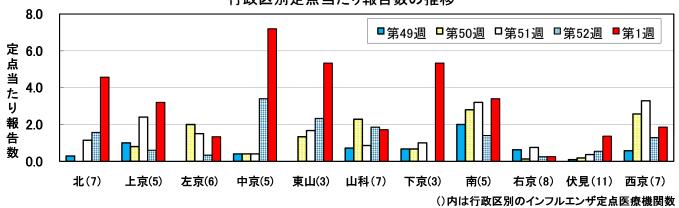
今シーズンのインフルエンザウイルスの分離検出報告状況(1月14日現在)をみると,全国では、シーズンの前半は、AH3型が大半を占めていましたが、第49週(12月5日~12月11日)以降は、AH1pdmの報告数が増加しています。第49週以降の累積報告数は、AH1pdm433例 AH3型229例 B型20例となっています。京都市衛生環境研究所では、今シーズン、散発事例から、AH1pdm2例、AH3型4例 B型1例、集団事例から、AH3型1例 B型6例(3事例)を検出しています。

なお、1月14日(金)に、市内においては、今シーズン初めて新型インフルエンザに感染した患者の死亡(男性、54歳、肺のう胞症の基礎疾患有、インフルエンザワクチンは未接種、死因は肺炎)が確認されています。

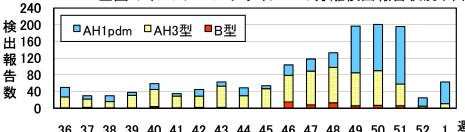
本市及び全国の定点当たり報告数の推移



行政区別定点当たり報告数の推移



全国のインフルエンザウイルスの分離検出報告状況(平成22年第36週~)



累積報告数					
	第36~48週	第49週~			
AH1pdm	213	433			
AH3型	545	229			
B型	50	20			

36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 1 週 平成22年 平成23年